

小呂湿地の概要

小呂湿地は、岡崎市小呂町の標高160～170mの尾根の谷間に成立した湿地です。かつて、水田としての利用がなされていた本湿地では、植物等の堆積による泥炭湿原の様相もうかがえ、本市最大の北山湿地とは一線を画した生態系となっており、極めて貴重な場所です。

モウセンゴケやミズギク、ミズギボウシ、サギソウ、カキラン、ハッコウトンボ、ヒメタイコウチ、ツヤネクイハムシ、オオヒカゲなどといった希少な動植物を見ることができます。

【来訪者へのお願い】

小呂湿地には、湿地固有の貴重な動植物が見られます。ここでしか見られないものもあり、わずかな環境変化が生態系を乱し、絶滅に迫りやすることもあります。「持ち込まない」「持ち出さない」「踏み込まない」の3原則を守っていただき、優しい気持ちで自然のいとなみを観察してください。

小呂湿地

【交通の御案内】



小呂湿地には駐車場はございません。

東公園から散策がてらお越しください。

岡崎市環境部環境政策課

岡崎市十王町二丁目9番地

電話:0564-23-6188

FAX: 0564-23-6536

電子メール: kankyoseisaku@city.okazaki.lg.jp



サギソウ

小呂湿地周辺案内図



湿地内を踏み荒らさないように、木道が整備されています。AからDまでの湿地では、それぞれ固有の動植物を見ることが出来ます。

【各湿地の保全目標】

- A湿地：多様な湿地性動植物が見られる湿地
- B湿地：多様な水生昆虫が見られる湿地
- C湿地：湿地性の植物にチョウが訪れる湿地
- D湿地：手を加えずに自然のままに保存する

小呂湿地の植物



小呂湿地の動物

